

26年 9月 8日.

日本包装管理士会IPP関西

「第3回テクニカルセミナー」の報告

開催日時 : 26年 9月 8日(火) 15:40~18:00

開催会場 : 大阪市立総合生涯学習センター第4研修室

- ・「テクニカルセミナー」には会場17名、リモート3名 計20名の方に参加いただきました。
- ・アリナミン製薬(株)山内講師には「一般用医薬品における包装開発事例報告」のテーマで、OTC医薬品の分類、代表例、製品開発と承認プロセス及び包装の役割と必要性を説明いただきました。開発事例①としてアルミ蒸着紙切替えによる“高級感と安定生産性の両立”課題解決のため、材料試験を実施、アルミ蒸着紙の反りや反発性を数値化し最適材料を選定した事例紹介。開発事例②“工程設計による品質向上”については、キャップの嵌合不良を治具と製造条件を最適化して解決、製造条件のパラメータ調整により安定した締め付けと品質を確保した内容について解説いただきました。
- ・レンゴー(株)岡講師には「段ボール貼合用接着剤の基礎知識と最適処方」のテーマで、接着剤は段ボールの貼合や品質維持に大きな影響を持つ。主成分は水/澱粉/苛性ソーダ/ホウ砂の4種類で構成。接着剤のポイントは圧着前は塗工性が良く圧着後は素早く接着することで、粘度、糊化温度、濃度は塗工性と接着強度に影響。適正な粘度と温度管理が重要とのご説明をいただきました。また、マテリアルズインフォマティクスによる接着剤の最適処方(初期接着力が最も高くなる)探索では、実験データを基に推奨処方で理論と実績整合性を確認、最適処方で高初期接着力が確認。ただしコスト、粘度安定性に大いに課題があり、実用化目指すにはさらなる検討が必要とのことでした。
- ・両テーマとも参加者から活発な質問が飛び交い、大いに盛り上がりました。

◆セミナー会場風景



◆アリナミン製薬(株)山内講師



◆レンゴー(株)岡講師



◆交流会 集合写真

